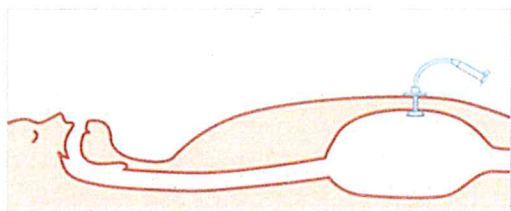


おなかに小さな口—胃ろう (PEG)

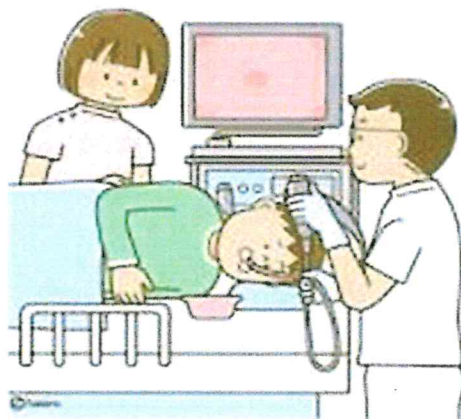
胃ろう

内視鏡を使って「おなかに小さな口」(第二の口)を造る手術のことです。(経皮内視鏡的胃瘻造設術)造られたおなかの口を「胃瘻(胃ろう)」と言います。

口から食事のとれない方や、食べてもむせ込んで肺炎などを起こしやすい方に、直接胃に栄養を入れる栄養投与の方法です。



胃瘻は局所麻酔と胃カメラで行う比較的容易な処置。



胃ろうは、欧米で多く用いられている長期栄養管理法で、鼻からのチューブなどに比べ、患者さんの苦痛や介護者の負担が少なく、喉などにチューブがないため、お口から食べるリハビリや言語訓練が行いやすいというメリットがあります。

口から栄養が取れるようになれば、稀ですが胃ろうは除去することもできます。

ただし、お口から食べるリハビリについては、医師の指示にて行えるもので、造設した患者さん全員が対象というわけではありません。

また、胃ろうで経管栄養をすることで誤嚥性肺炎が全くなくなるわけではありません。

よくある質問

カテーテルは半永久的だと聞きましたが？

タイプによって交換時期は異なりますが、必ず定期的に交換してください。(交換場所は造った病院の医師に確認します)1年以上も長期留置をしますと抜去困難になったり、カテーテル汚染からくる下痢をおこすことがあります。

入浴の際、湯船につかっても瘻孔からお湯が入ってきませんか？

一般的に水圧より腹圧の方が高いため、瘻孔からお湯が入ってくることはないとされています。

胃ろうを行なったことによって、引き起こす恐れのある合併症は？

嘔吐・下痢・胃ろうの瘻孔スキントラブル